

保証書

この製品は、厳密な品質管理および検査を経てお届けしたものです。正常な使用状態において、万一故障した場合には、お買い上げ販売店に必ず本保証書を提示の上、修理を依頼してください。別掲の保証規定により無料で修理いたします。

※印欄に記入がない場合は、無効となりますので、お買い上げ時に必ず記入の有無をご確認ください。

商品名	RT-422DX		
保証期間	※ お買い上げ年月日		1年間
	平成	年 月 日から	
※ お客様	住所	〒	様
	氏名	電話	
※ 販売店	住所	〒	様
	氏名	電話	

本保証書は再発行しませんので大切に保管してください。

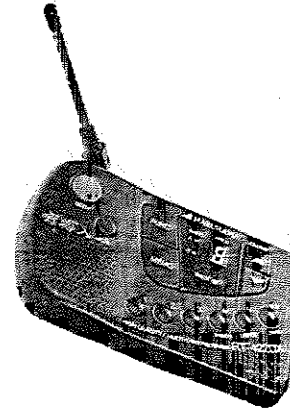


〒232 横浜市南区日妙町4丁目43番地4
サービス部：(054)626-2098

MARUHAMA
UHF/FMマルチバンドレシーバー

RT-422DX

取扱説明書



RT-422DXをお買い上げいただき誠にありがとうございます。

この取扱説明書は本機を正しくお使いいただくためのガイドブックです。ご使用になる前に本書をよくお読みになり、内容を十分理解された上でご使用くださるようお願いいたします。

また、本書はいつもお手元において都度ご参照ください。

目次




	ページ
1. 安全についてのお願いとご注意	1
2. 製品の構成	6
3. 本機の有する機能と特長	7
4. ご使用になる前に	8
5. 各部の名称とはたらき	10
6. 受信エリア	12
7. 使用方法	13
1. 選局方法	13
2. プライオリティー受信	17
3. メモリー登録	18
4. 秘話通信の解読	20
8. ファンクションモード時の機能	21
1. インターリーブ機能	21
2. チャンネルステップの切替	22
3. 受信待ち	23
4. プザー音の停止	23
5. 音量最大、最小化	24
6. 6秒自動選局	24
7. 基地局と移動局の切替 (リバース機能)	25
9. その他の機能	26
1. 周波数表示機能	26
2. オートディマー機能	26
3. バッテリーローアラーム	26
4. オートパワーオフ機能	26
5. メモリーの全消去	26
10. 故障とお考えになる前に	27
11. 主な仕様	28

1. 安全についてのお願いとご注意

安全についてのお願

本機を安全にご使用いただくには正しい操作と安全に関する注意事項をお守りいただくことが不可欠です。本書では、最初に、もしお守りいただかないと重大な人身事故につながるおそれのある事項を“警告”として掲げています。次いで、もしお守りいただかないと、使用者がけがをしたり、製品の損傷や故障につながるおそれのある事項を“注意”として掲げています。また、“法的規制”、“機能上の制約”についても説明しています。

本書では“警告”と“注意”に関し、マークを付与して注意を喚起しています。それらの使用区分は次のとおりです。なお、各マークの外枠の中の小マークは具体的な内容を示します。

-  : 警告、注意(特定しない“警告”と“注意”を示します。)
-  : 禁止(“警告”と“注意”の内、してはいけないことを示します。)
-  : 強制(“警告”と“注意”の内、しなければならないことを示します。)

本機をご使用になる前にこれらの内容をよくお読みになり、十分理解の上操作してください。“警告”や“注意”は本機を本書に規定する目的で使用する場合のみを想定しています。本書に書かれていない方法での使用は絶対に避けてください。規定外の方法でご使用になったことによって発生した事故などについて、弊社は一切の責任を負いません。





なお、本書を紛失、汚損された場合は切手400円分を同封の上弊社宛ご請求ください。

安全についてのご注意


⚠ 警告

(人身の安全のためにお守りいただくこと)




使用場所、使用環境

-  ■自動車、自転車など乗り物を運転中に操作しないでください。
乗り物の運転中に本機を操作することは、交通事故の原因になりますので、絶対に避けてください。
-  ■人混みの中では使用しないでください。
アンテナが目などに当たり、けがの原因になります。
-  ■本機に水がかかる可能性のある場所で使用しないでください。
風呂場では使用しないでください。また、雨天時、海岸、水辺での使用時には水がかからないよう十分注意してください。水がかかった場合はすぐに拭き取ってください。また、万一内部に水が入った場合は直ちに本機の電源を切り、ACアダプターを使用中の場合にはコンセントから抜いてください。
そのまま使用しますと、火災や感電の原因になります。
-  ■雷が鳴り始めたら本機の使用を中断してください。
雷鳴時に本機に触れますと感電の原因になります。


分解、改造の禁止

-  ■キャビネットは絶対にあけないでください。
本機は精密部品を多数搭載しています。分解や改造を加えますと故障が起き、また感電の原因になります。

電源、電源コードの取扱い

-  ■定格以外の電圧で使用しないでください。(ACアダプター使用時)
定格(DC12V)以外の電圧を加えますと異常に発熱し、火災や感電などの原因になります。
-  ■外部電源を使用する場合はかならず弊社純正のACアダプター(付属品)をご使用ください。
他社製アダプターを使用しますと故障の原因となるのみならず、異常に発熱し、火災の原因になります。また、本機同様、ACアダプターの分解や改造は避けてください。
-  ■電源コードを傷つけたり、傷んだ電源コードを使用しないでください。
電源コードが傷んだ場合は販売店から新品を購入してください。そのまま使用しますと火災や感電の原因になります。




異常検出時の対処

-  ■発熱、発臭、発煙を検出した場合には直ちに使用を中止してください。
これらの異常を検出した場合には直ちに本機の電源を切り、ACアダプター使用中の場合はコンセントから抜いて使用を中止してください。そのまま使用しますと、火災や感電の原因になります。修理は販売店に依頼してください。お客様ご自身での修理は絶対に避けてください。




⚠ 注意

(本機の故障を避けるためにお守りいただくこと)


使用環境、取扱


-  ■ 衝撃や振動を加えないでください。
衝撃や振動を加えますと、精密部品が壊れ故障の原因になります。
-  ■ テレビ、ラジオなどの電子機器から離れた場所でお使いください。
強い電波を発する電子機器の近くでは正常に動作しない可能性があります。
-  ■ 規定範囲内の温度条件下でお使いください。
本機は-10℃～+60℃の範囲で動作します。この範囲外で使用しますと故障の原因になります。

電池の取扱


-  ■ 電池を本機に挿入する場合は極性（プラス、マイナスの方向）に注意し指示どおりに正しく挿入してください。
間違えて挿入しますと、乾電池の破裂、液漏れにより、けがをしたり故障の原因になります。
-  ■ 新旧の電池を混ぜて使用しないでください。
電池の劣化を早めるとともに破裂、液漏れにより、けがをしたり故障の原因になります。
-  ■ 使用済みの電池をふつうのゴミと一緒に捨てないでください。
使用済みの電池は環境保全のため、地域で定められている“電池回収日”に所定の箱に入れるか、あるいは電器店の“電池回収箱”などへ入れてください。

保 守


-  ■ 長時間ご使用にならないときはACアダプターをコンセントから抜いてください。
そのまま放置しますと故障の原因になります。

-  ■ ケースが汚れた場合は柔らかい布またはティッシュペーパーで拭き取ってください。
シンナー、ベンジン、化学雑巾などを使用しますと、本機の形状が変化するおそれがあります。また、お手入れの際はかならず本機の電源を切り、ACアダプターはコンセントから抜いてください。

法的規制

-  ■ 電波法を遵守してください。
電波法第五十九条により、特定の相手方に対しておこなわれる無線通信を傍受し、その存在もしくは内容を第三者に漏らしたり窃用することが禁止されています。厳重に注意してください。

機能上の制約

- 音声、雑音とは違う信号音を受信することがあります。
本機はアナログ通信を対象としており、デジタル通信や制御チャンネル通信、また音声反転方式以外の秘話通信を受信することはできません。その場合、雑音とは違う信号音を受信します。
- 内部干渉により指定帯域外の電波を受信することがあります。
- 使用場所により受信できない場合があります。
電波の遮断された建物の中、電波の届かない山中、強い電波が発射されている放送局の周辺などでは受信できない場合があります。
-  ■ 日本国内で使用してください。
本機の仕様は日本国内向けとなっています。外国では電波方式、電源電圧が異なりますので使用できません。

2. 製品の構成

お買い上げいただいたRT-422DXは次の品目から構成されています。

- 本機 1台
- ワイヤアンテナ 1個
- ACアダプター 1個
- イヤホン 1個
- 取扱説明書兼保証書（本冊子） 1冊

3. 本機の有する機能と特長

■ 簡単操作で超高感度受信

手のひらサイズのコンパクトボディに超高感度機能を集約。スイッチを入れるとすぐに自動選局を開始し、次々に電波を受信。

■ 12個の周波数範囲（エリア）を簡単選局

12エリア（2バンド×6エリア）が登録してあります。聴きたいエリアを、ボタンを押すだけで自由に選択。

■ 基地局と移動局の切替が可能

携帯電話の基地局を受信しているときに、移動局との切替がワンタッチでできます。受信中の基地局に対する移動局の受信が可能な場合にブザー音で知らせる、移動局検索機能付き。

■ 350.1MHz（速度取締連絡波）を優先受信

プライオリティーチャンネルに、350.1MHz（速度取締連絡波）が登録してあります。どのチャンネル（周波数）を受信中でも、このチャンネルの優先受信が可能。

■ 聴きたいチャンネルのチャンネルメモリー

聴きたいチャンネルを登録できます。バンドAのエリア6に、最大20チャンネルまで登録可能。

■ 要らないチャンネルのバスメモリー

要らないチャンネル（信号音などがするチャンネル）を自動選局の対象から外せます。最大20チャンネルまで。

■ インターリーブ機能

携帯電話等では6.25kHzずれたチャンネル（周波数）を使っている場合があります。このずれたチャンネルも受信できます。

■ 秘話通信の解読

コードレス電話の秘話通信（音声反転方式）を解読。

■ 盗聴電波の受信

UHF帯（300MHz帯）を使用した無線式盗聴器の発信電波を受信。盗聴電波を受信するとブザー音が鳴り、文字表示LEDが点滅してその電波を受信します。

■ 便利な2電源方式

単4形乾電池3本、または付属のACアダプター（家庭用AC100V電源用）のどちらでも使えます。

■ 受信周波数の表示

現在受信中の周波数を表示。

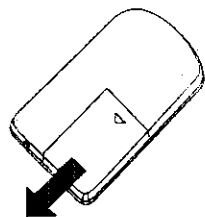
4. ご使用になる前に

1. 電源について

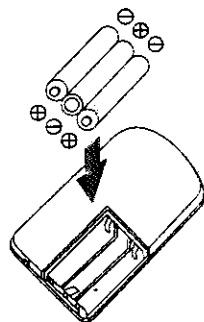
本機の電源は、乾電池（単4形 3本）を使用します。
アルカリ乾電池の場合は、約10時間連続で使用できます。
また、付属のACアダプターにより、家庭用電源（AC 100V）でもご使用になれます。

2. 電源について

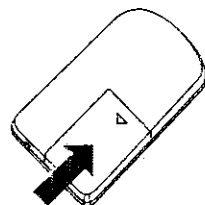
① 本体背面の電池蓋を矢印の方向にスライドして外します。



② 乾電池（単4形 3本）の極性を間違えないように入れます。



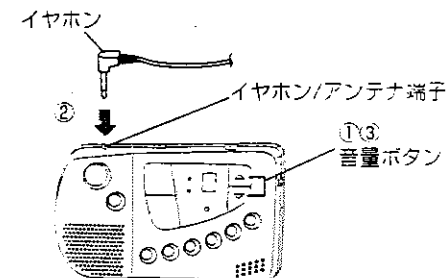
③ 電池蓋をスライドして固定します。



3. イヤホンで聴く場合

イヤホンでお聴きになる場合は、かならず音量を下げてから、イヤホンを装着してください。
※イヤホンはアンテナも兼用していますので、伸ばしてお使いください。

- 1 音量を下げます。
- 2 付属のイヤホンを本体のイヤホン/アンテナ端子に接続します。
- 3 イヤホンを装着したあと、音量ボタンで適度な音量に調節します。



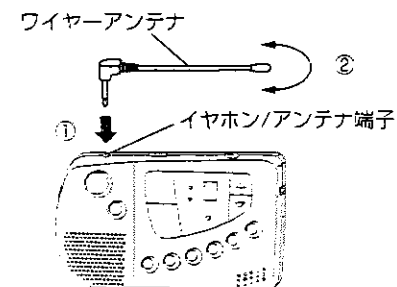
—— ちょっとひとき ——

- イヤホンを接続すると、本体内蔵のスピーカーからは音がでません。
- イヤホンで聴く場合は、音量が同じでもスピーカーよりかなり音が大きく聞こえます。イヤホンでお聴きになる場合は、音量に注意してください。

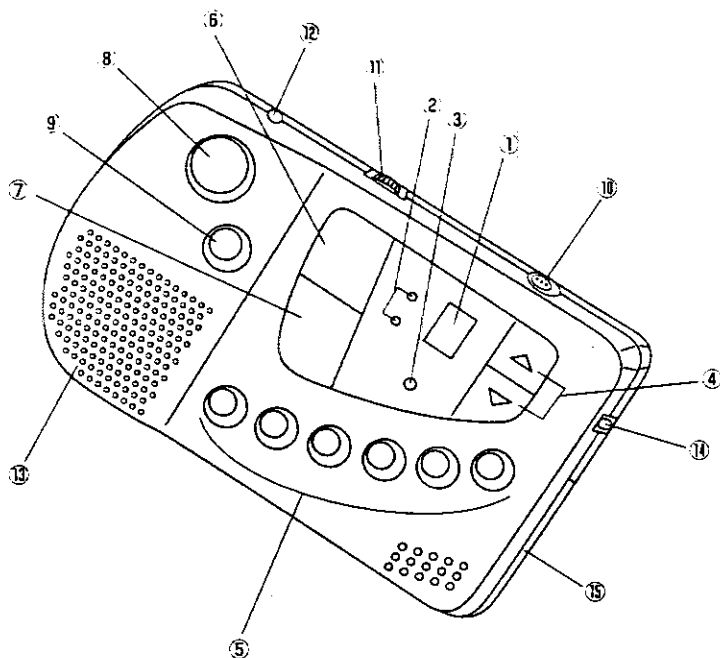
4. スピーカーで聴く場合

スピーカーでお聴きになる場合は、イヤホンを外して、付属のアンテナを取り付けます。

- 1 付属のワイヤーアンテナを、本体のイヤホン/アンテナ端子に取り付けます。
- 2 音声を聴き取りやすい方向に、アンテナを回します。



5. 各部の名称とはたらき



①文字表示LED (AREA)

受信エリア、チャンネルステップ、周波数および各動作モードを表示します。

②バンド表示ランプ (BAND)

現在のバンドを表示します。

③シークランプ (SEEK)

自動選局中に点滅します。

④音量ボタン (VOLUME)

音量の上げ下げをします。

⑤エリア指定ボタン (1~6)

受信周波数範囲 (受信エリア) の選択をします。

⑥ファンクションボタン (FUNC)

ファンクションモード (→P.21) に切り替えます。

⑦メモリーボタン (MEMO)

チャンネルメモリーおよびバスメモリーの登録などをおこないます。

⑧シークボタン (SEEK)

自動選局の開始をします。

⑨モニターボタン (MONI)

- 受信 中……………音声を止しっぱなしにします。受信中の電波が弱く、音声が途切れる場合に押します。
- 自動選局中……………自動選局が解除されます。その後は、ボタンを押す度に、1ステップ上側のチャンネル (周波数) を受信します。
→ マニュアル選局

⑩電源スイッチ (POWER)

電源を入れたり切ったりします。

⑪シフトボリューム (SHIFT)

秘話通信の解読時に、音声が聴きやすくなるように調節します。

⑫イヤホン/アンテナ端子 (EAR/ANT)

付属のアンテナ、またはイヤホンを接続します。
イヤホンを接続すると、スピーカーからは音が出ません。

⑬内蔵スピーカー

⑭電源ジャック (DC12V)

外部電源を使用するときに、付属のACアダプターを接続します。

⑮電池蓋

6. 受信エリア

本機では、よく聴くエリアを12エリア（2バンド×6エリア）に分けてメモリーに登録しています。また、プライオリティーチャンネルとして、速度取縮連絡波（350.1 MHz）がメモリーに登録してあります。

受信エリア（受信周波数範囲）一覧

バンド	エリア	エリア名	受信周波数範囲 (MHz)
A	1	NTT携帯電話（基地局）	870.0125~884.9875 (※)
	2	新電々系携帯電話（基地局）	843.0125~869.9875 (※)
	3	小電力コードレス電話	380.2125~381.3000
	4	パーソナル無線1	903.0375~904.9875
	5	パーソナル無線2	899.0375~902.9875
	6	特定小電力トランシーバー チャンネルメモリー	421.5750~440.3625 登録された20チャンネル
B	1	アマチュア無線（UHF帯）	430.0000~440.0000
	2	タクシー無線	364.8250~453.3375
	3	道路・交通無線（バス・鉄道・JAF、道路 公園）	352.5000~415.2000
	4	業務用無線（業務無線、報道連絡波、電力、 ガス、水道）	364.5250~469.9750
	5	防災系無線（消防署活系無線、防災行政無 線、新救急無線）	353.2000~467.3750
	6	盗聴電波	UHF帯の32チャンネル
プライオリティー		速度取縮連絡波	350.1000

ちょっとひと言

- (※) 印の受信エリア（携帯電話）の受信周波数を、6.25kHzずらして自動選局することができます。→ **インターリーブ機能**
- 基地局と移動局の切替は、**(FUNC)** ボタンを押したあとエリア**[1]** ボタンを押すことによりおこないます。（「8.ファンクションモード時の機能」を参照してください。）

7. 使用方法

1. 選局方法

本機には、さまざまな選局方法があります。

① エリア内を自動選局する場合

メモリー登録してある12エリア（2バンド×6エリア）を呼び出して、自動選局します。エリア指定ボタンを1回押すとバンド**[A]**、1秒以内に2回押すとバンド**[B]**が選択されます。

操作方法

- ① 電源を入れます。
電源スイッチを **[ON]** にしてください。
電源が入ると文字表示LEDおよびバンド表示ランプが点灯し、前に受信していたエリアで自動選局を開始します。→ **オートシークスタート**
- ② 音量を調節します。
音量ボタンを押して、適度な音量に調節してください。
- ③ 受信エリアを指定します。
エリア指定ボタンを押して、受信したいエリアを指定してください。
- ④ 自動選局を開始します。
エリアを指定すると、指定したエリアの最初のチャンネル（周波数）から自動選局を開始します。→ **オートシークスタート**
自動選局中は、シークランプが点滅します。
- ⑤ 通話を受信します。
通話中のチャンネルがあると、そのチャンネルで自動選局を停止して受信状態になります。

受信中のチャンネルの通話が、終了、または電波が非常に弱くなって受信できない場合は、次の通話中のチャンネルまで、自動選局を開始します。→ **オートシークスタート**

- ⑥ 通話を受信中に、他のチャンネルを自動選局したい場合は、**(SEEK)** ボタンを押します。
ボタンを押すと、次に通話中のチャンネルまで自動選局を開始します。
- ⑦ 受信中のチャンネルを続けてお聴きになりたい場合は、**(MONI)** ボタンを押します。
ボタンを押すと、自動選局が解除されて、そのチャンネルで受信したままになります。
→ **マニュアル選局モード**

② マニュアル（手動）選局

エリア内のチャンネル（周波数）を、マニュアル（手動）操作により、1ステップずつ選局します。

操作方法

- 1 エリアを指定します。
エリア指定ボタンを押して、聴きたいエリアを指定してください。
- 2 **MONI** ボタンを押します。
ボタンを押すと、自動選局が解除されて、マニュアル（手動）選局状態になります。
- 3 **MONI** ボタンを押します。
ボタンを押す度に、1ステップずつ上側のチャンネルを受信します。
1秒以上ボタンを押し続けた場合は、ボタンを離すまで次々と上側のチャンネルを選局します。
- 4 1ステップ下側のチャンネルを受信するには **FUNC** ボタンを押しながら **MONI** ボタンを押します。
ボタン操作の度に、1ステップ下側のチャンネルを受信します。
1秒以上 **FUNC** ボタンと **MONI** ボタンを押し続けると、ボタンを離すまで次々と下側のチャンネルを選局します。
- 5 自動選局をするには、**SEEK** ボタンを押します。

ちょっとひと言

- バンド⑧のエリア⑥には、UHF帯の無線式盗聴器の発信周波数が登録されています。このエリアを選局中に盗聴電波を受信すると、ブザー音が鳴り、文字表示LEDが点滅して盗聴電波の受信を知らせます。ただし、テレビやラジオなどの輻射電波を受信することがあります。

③ ダイレクト選局

ボタン操作により周波数を入力することで、聴きたいチャンネル（周波数）を直接選局（受信）します。選局が可能な周波数範囲は、814.00~940.00MHz（ハイバンド）および347.00~470.00MHz（ローバンド）です。

操作方法

（例）870.50MHzのチャンネルを直接選局する。

- 1 **FUNC** ボタンを押します。
文字表示LEDに[F]が表示され点滅します。
- 2 **MEMO** ボタンを押します。
文字表示LEDに100MHz帯の数字（3、4、8、9のいずれか）が表示されて点滅し、ダイレクト選局モードになります。
- 3 周波数 **870.50** MHzを入力します。
SEEK ボタンと **MONI** ボタンを押して、100MHz帯から1桁ずつ周波数を入力します。
SEEK ボタンを押すと数字が変わり、**MONI** ボタンを押すと次の桁に移動します。**870.50**を入力するには、



の順に操作します。

最後の桁（10kHz帯）を入力して **MONI** ボタンを押すと100MHz帯に戻り、100MHz帯に対応する数値が点滅します。

ちょっとひと言

- ダイレクト選局を途中でやめるには、**FUNC** ボタンを押します。また、約5秒間何も操作をしなくても選局を中止します。

- 4 入力したチャンネル（周波数）の確認をします。
MONI ボタンを押して、100MHz帯から順番に、1桁ずつ周波数を表示します。
- 5 **5/ENTER** ボタンまたは **MEMO** ボタンを押します。
ボタンを押すと、入力したチャンネルで受信待ちになります。入力したチャンネルがハイバンドの場合は[F]、ローバンドの場合は[L]が文字表示LEDに表示されます。
- 6 ダイレクト選局を解除するには、エリア指定ボタンのいずれかを押します。

3. その他の選局方法

〈ハイバンド選局〉

ハイバンド (814.00MHz~940.00MHz) で自動選局をおこないます。

操作方法

- 1 **FUNC** ボタンを押しながら電源スイッチを **ON** にします。
814.00MHzから自動選局を開始します。
- 2 ハイバンド選局を解除するには、エリア指定ボタンのいずれかを押します。
押したボタンのエリアで自動選局を開始します。

〈ローバンド選局〉

ローバンド (347.00MHz~470.00MHz) で自動選局をおこないます。

操作方法

- 1 **MEMO** ボタンを押しながら電源スイッチを **ON** にします。
347.00MHzから自動選局を開始します。
- 2 ローバンド選局を解除するには、エリア指定ボタンのいずれかを押します。
押したボタンのエリアで自動選局を開始します。

〈マルチエリア選局〉

複数のエリアを自動選局します。指定したエリア番号の順に、最大6エリアまで選局できます。

操作方法

- 1 エリア指定ボタンのいずれかを押しながら電源スイッチを **ON** にします。
このとき押したボタンのエリアが最初に選局されます。(バンド[A]のみ)
- 2 エリアを指定します。
選局したいエリアの順に、エリア指定ボタンを押します。(バンド[B]の指定も可)
エリアは最大6個まで指定できます。
- 3 マルチエリア選局を解除するには、電源スイッチを **OFF** にします。

2. プライオリティー受信

〈速度取締連絡波の傍受〉

プライオリティーチャンネルとして、速度取締連絡波 (350.1MHz) をメモリーしています。他のチャンネル (周波数) を受信中でも、プライオリティーチャンネルに電波があれば優先的に受信します。

- 1) 他のチャンネルを受信しながらプライオリティーチャンネルを受信する場合

操作方法

- 1 **SEEK** ボタンを押しながら、電源スイッチを **ON** にします。
電源が入ると、プライオリティーチャンネルの電波検出を約3秒間隔でおこないます。電波検出中は、文字表示LEDに [P] が表示されます。
- 2 プライオリティーチャンネルに電波があれば、文字表示LEDに [P] が表示され、受信状態になります。
- 3 プライオリティーチャンネルの電波がなくなると、受信前の状態に戻ります。
- 4 プライオリティーチャンネル受信を解除する場合は、電源スイッチを **OFF** にします。

ちょっとひと言

- プライオリティーチャンネルの電波検出中は、受信中の音声は約3秒の間隔で途切れますが、これは故障ではありません。

- 2) プライオリティーチャンネルのみ受信する場合

操作方法

- 1 **MONI** ボタンを押しながら、電源スイッチを **ON** にします。
電源が入ると、文字表示LEDに [P] が表示され、プライオリティーチャンネルで受信待ち状態になります。
- 2 プライオリティーチャンネルに電波があれば、その電波を受信し、音声は聞こえます。
- 3 プライオリティー受信を解除する場合は、エリア指定ボタンのいずれかを押します。
指定したエリアで自動選局を開始します。

3. メモリー登録

聴きたいチャンネル(周波数)を登録するためのチャンネルメモリーと、自動選局中に、制御信号チャンネルなど、受信の不要なチャンネルをとばして選局するためのパスメモリーがあります。

① チャンネルメモリー

聴きたいチャンネルを、チャンネルメモリーに登録します。
最大20チャンネルまで登録できます。

操作方法

- ① 登録したいチャンネルを受信中に **MEMO** ボタンを押します。
↓
文字表示LEDが点滅します。
- ② **6/OWN** ボタンを押します。
登録が終了すると、ブザー音が鳴り、文字表示LEDに **E** が表示されます。

チャンネルメモリーの消去方法

- チャンネルメモリーの登録内容を消去するには、**MEMO** ボタンと **6/OWN** ボタンを押しながら、電源スイッチを **ON** にします。

チャンネルメモリーの選局方法

- チャンネルメモリーに登録した周波数のみを選局するには、次のような操作をおこないます。

- ① **FUNC** ボタンを押します。
↓
文字表示LEDに **E** が表示されます。
- ② F表示中に、**6/OWN** ボタンを押します。
文字表示LEDに **0** が表示され、登録された周波数を自動選局します。
チャンネルメモリーに周波数が登録されていない場合は、バンド **A** のエリア **0** の自動選局をします。
- ③ チャンネルメモリー内の周波数を手動で選局するには、マニュアル選局をします。
マニュアル選局については、「P14 ②マニュアル選局」をご参照ください。

ご注意

- チャンネルメモリー内の特定の周波数を直接指定することはできません。

② パスメモリー

受信に不要なチャンネル(周波数)をパスメモリーに登録しておくことで、自動選局中に、不要なチャンネルをとばして選局します。
パスメモリーには、最大20チャンネルまで登録できます。

操作方法

- ① 不要なチャンネルを受信中に **MEMO** ボタンを押します。
↓
文字表示LEDの表示が点滅します。
- ② **4/PASS** ボタンを押します。
登録が終了すると、ブザー音が鳴り、文字表示LEDに **0** が表示されます。

パスメモリーの消去方法

- パスメモリーに登録した内容を消去するには、**MEMO** ボタンと **4/PASS** ボタンを押したまま電源スイッチを **ON** にします。

ちょっとひと言

- チャンネルメモリーおよびパスメモリーに登録できる周波数は、最大で20チャンネルです。それ以上登録しようとすると、古い登録内容から消去されます。

4. 秘話通信の解読

コードレス電話の盗聴防止用秘話通信機能には、おもに音声反転方式が使用されています。秘話通信を受信しても、そのままでは音声として聴くことはできません。本機には、この音声反転方式の秘話通信を、解読する機能があります。

操作方法

- 1 秘話通信を受信中に、**FUNC** ボタンを押します。
文字表示LEDに**F**が表示され、点滅します。
- 2 文字表示LEDに**F**が点滅中に、**FUNC** ボタンを押します。
秘話通信を解読します。(音声反転します。)
- 3 シフトボリュームを調節します。
音声を聴き取りやすい位置に、シフトボリュームを回して調節します。
- 4 秘話通信の解読を中止するには、1～2の操作をおこなうか、電源スイッチを**OFF** にします。
秘話通信の解読が解除されて、解読する前の状態に戻ります。

ちょっとひと言

- 秘話通信の解読は、受信中のチャンネル(周波数)に対してのみ有効です。自動選局などで受信チャンネルが変わった場合は、秘話通信の解読は解除されます。

ご注意

- 秘話通信でない通常の通話を受信中に、秘話通信の解読操作をおこなった場合、音声反転した状態(秘話通信)になります。
- 本機は、音声反転方式以外の秘話通信を解読することはできません。
- 自動車電話および携帯電話の秘話通信は解読できません。

8. ファンクションモード時の機能

FUNC ボタンと他のボタンを組み合わせることにより、次のような機能を使用することができます。

1. インターリーブ機能

NTT携帯電話(バンドAのエリア1) および新電々系携帯電話(バンドAのエリア2)の最初の受信周波数を、6.25kHz下げた後、12.5kHzステップで自動選局します。

操作方法

- 1 **FUNC** ボタンを押します。
文字表示LEDに**F**が表示され、点滅します。
- 2 **F**表示中に、エリア指定ボタンの**2** ボタンを押します。
受信周波数を6.25kHzずらして、自動選局を開始します。
- 3 インターリーブ機能を解除するには、再度1～2の操作をおこなうか、エリアを切り替えます。

2. チャンネルステップの切替

選局状態により、チャンネルステップを切り替えることができます。

切替可能な選局状態	チャンネルステップ切替 (kHz)
NTT携帯電話 (バンドA)のエリア①) 選局時	25 → 12.5
新電々系携帯電話 (バンドA)のエリア②) 選局時	25 → 12.5
ハイバンド選局時	12.5 → 6.25

操作方法

- ① **FUNC** ボタンを押します。
文字表示LEDにFが表示され、点滅します。
- ② F表示中に、エリア指定ボタンの **3** ボタンを押します。
チャンネルステップが切り替わり、文字表示LEDにチャンネルステップを表示します。

チャンネルステップ (kHz)	エリア表示LED
6.25	6 → 2 → 5
12.5	1 → 2 → 5
25	2 → 5

- ③ チャンネルステップを元に戻すには、エリアを切り替えるか、再度①～②の操作をおこなうか、電源スイッチを **OFF** にします。

3. 受信待ち

受信中の通話が終了しても、自動選局をせずにそのチャンネル (周波数) で受信待ちになります。

操作方法

- ① 通話を受信中に、**FUNC** ボタンを押します。
文字表示LEDにFが表示され、点滅します。
- ② F表示中に、エリア指定ボタンの **4/PASS** ボタンを押します。
受信中のチャンネルで受信待ちになります。
受信待ち時に **SEEK** ボタンを押すと、自動選局を開始し、次に停まった周波数で受信待ちになります。
受信待ち時にエリアを切り替えた場合は、指定したエリアの最初の周波数で受信待ちになります。
- ③ 受信待ちを解除するには、電源スイッチを **OFF** にします。

4. ブザー音の停止

ボタンを押したときにブザー音がないようにします。

操作方法

- ① **FUNC** ボタンを押します。
文字表示LEDにFが表示され、点滅します。
- ② F表示中に、エリア指定ボタンの **5/ENTER** ボタンを押します。
ボタンを押したときのブザー音を停止します。
- ③ ブザー音の停止を解除するには、再度①～②の操作をおこなうか、電源スイッチを **OFF** にします。

5. 音量最大、最小化

音量を最大、または最小にします。

操作方法

- 1 **FUNC** ボタンを押します。
文字表示LEDに[F]が表示します。
- 2 [F]表示中に、音量ボタンを押します。
音量を最大にするとき：**▲** ボタンを押します。
音量を最小にするとき：**▼** ボタンを押します。

6. 6秒自動選局

6秒間通話を受信すると、自動選局を開始します。

操作方法

- 1 **FUNC** ボタンを押します。
文字表示LEDに[F]が表示され、点滅します。
- 2 [F]表示中に、**SEEK** ボタンを押します。
6秒自動選局を開始します。6秒間通話を受信すると、通話の途中でであっても自動選局を開始します。
- 3 受信中の通話を継続してお聴きになりたい場合は、自動選局を開始する前に**SEEK** ボタンを押します。
通話が終了するまで受信します。終了する前に自動選局を開始するには、再度**SEEK** ボタンを押します。
- 4 6秒自動選局を解除するには、再度①~②の操作をおこなうか、電源スイッチを**OFF** にします。

7. 基地局と移動局の切替（リバーシ機能）

NTT携帯電話（バンド[A]のエリア①）および新番号系携帯電話（バンド[A]のエリア②）の基地局と移動局を、切り替えて受信します。

操作方法

- 1 携帯電話の基地局を受信します。
受信した基地局に対する移動局が受信可能ならば、ブザー音が鳴ります。
— **移動局検索機能** —
- 2 通話を受信中に、**FUNC** ボタンを押します。
文字表示LEDに[F]が表示され、点滅します。
- 3 [F]表示中に、エリア指定ボタンの**1** ボタンを押します。
基地局と移動局の切替が可能になり、文字表示LEDが点滅します。
移動局を受信中は、バンド[A]のバンド表示ランプが点滅します。
- 4 基地局と移動局を切り替えるには、**MONI** ボタンを押します。
ボタンを押す度に、基地局と移動局が切り替わります。
- 5 リバーシ機能を解除するには、他の周波数を選局します。

ちょっとひとき

- リバーシ機能は、受信中のチャンネル（周波数）に対してのみ有効です。自動選局などで受信チャンネルが変わった場合は、リバーシ機能は解除されます。

ご注意

- 移動局に切り替えたとき、電波が弱いため、その近くでなければ聞こえにくくなる場合があります。

9. その他の機能

1. 周波数表示機能

受信中の周波数を表示することができます。

操作方法

- ① 通話を受信中に、**(MEMO)** ボタンを押します。
文字表示LEDの表示が点滅します。
- ② **(5/ENTER)** ボタンを押します。
文字表示LEDに、受信中のチャンネルの100MHz帯の数値が点滅表示されます。
- ③ **(MONI)** ボタンを押します。
ボタンを押す度に、一つ下の桁の数字を表示します。
(例) ③→⑧→①→②→②→⑤と表示された場合→380.225MHzを受信中です。
- ④ 周波数の表示を解除するには、**(MEMO)** ボタンまたは**(5/ENTER)** ボタンを押します。
周波数の表示を終了します。
また、約5秒間何も操作をしなくても、周波数の表示は解除されます。

2. オートディママー機能

文字表示LEDの表示が変わったあと、約3秒間何もボタンを押さなければ、文字表示LEDの表示を暗くして、電池の消耗を防ぎます。

3. バッテリーローアラーム

電池が消耗すると、文字表示LEDの表示が点滅し、ブザー音が約30秒間隔で鳴ります。その場合は新しい電池と交換してください。

4. オートパワーオフ機能

電池の消耗を防ぐため、約30分間何も操作をしないと5秒おきに文字表示LEDとブザー音で警告し、さらに約30秒間何も操作をしなければ動作を停止します。動作をもとにもどす場合は、電源を入れ直します。

※ACアダプターにより外部電源を接続している場合は、この機能ははたらきません。

5. メモリーの全消去

メモリーに記憶されている内容をすべて消去できます。

(MEMO) ボタンと**(5/ENTER)** ボタンを押しながら、電源スイッチを**[ON]** にすると、チャンネルメモリーおよびバスメモリーに記憶されている内容が消去されます。

10. 故障とお考えになる前に

ご使用中に異状を感じたときは、故障と思われる前に下記の点をお確かめになってください。

症 状	原 因
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ●電池が消耗している →新しい電池に交換してください ●電源プラグが奥まで入っていない ●外部電源がきていない
受信しない (音が出ない)	<ul style="list-style-type: none"> ●電源が入っていない ●音量が低い ●イヤホンが接続されている ●外部電源が接続されていない ●オートパワーオフ機能がはたらいている →電源を入れ直してください
変な信号音や音声が入る	<ul style="list-style-type: none"> ●制御チャンネルや音声反転方式以外の秘話通信を受信している →音声での受信はできません ●秘話通信でない通話を秘話通信の解読モードで受信している →秘話通信の解読モードを解除してください
音声が入り切れる	<ul style="list-style-type: none"> ●電波状態がよくない →(MONI) ボタンを押してください ●プライオリティー受信をしている

11. 主な仕様

- 電源電圧……………DC3.6V 単4形乾電池3本
DC 1.2V 外部電源
- 受信周波数……………347.0~470.0MHz
814.0~940.0MHz
- 受信電波型式……………FM-N
- 周波数ステップ……………6.25/10/12.5/25kHz
- メモリー数……………チャンネルメモリー 20チャンネル
バスメモリー 20チャンネル
- 受信感度……………0.3 μ V 12dB SINAD
- 動作温度範囲……………-10℃~-60℃
- サイズ……………108 (W)×66 (H) ×16.5 (D) mm
アンテナおよび突起部は除く
- 重量……………75g

保証規定

1. 保証期間内(お買い上げ日より1年間)に、正常な使用状態において万一故障した場合には無料で修理いたします。
2. 保証期間中に修理を依頼される場合は、本機に保証書を添えて、お買い上げ販売店にお持ちください。
3. 次のような場合には保証期間内であっても有料修理となります。
 - (イ)使用上の誤り、本機に改造を加えたことによる故障、またはお買い上げ店以外で修理されたことによる故障
 - (ロ)お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障や損傷
 - (ハ)火災、地震、水害、公害、規定外の電源(電圧・周波数)の使用、その他天災地変などによる故障および損傷
 - (ニ)保証書のご提示がない場合
 - (ホ)保証書の指定事項の未記入、あるいは字句が書き替えられている場合
4. 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。

修理メモ